

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声

新庁舎での「初」議会の傍聴者数は、過去最多の152名となりました。そのうち3名の女性に、登場していただきます。



次回も傍聴しようと思っています

山浦ケイ子さん(分水学校町)

今回初めて市議会を傍聴しました。きっかけは、市議会だよりの「市民の声」のページを見たこと、「おいらん道中」についての質問が聞きたかったからです。感想としては、議長が質問者を番号で呼んでいたことに驚きました。名前前で呼んだほうがいいんじゃないでしょうか。

今まで仕事をしていたので時間がありませんでしたが、今は余裕があるので、市議会に対して関心を持っていきたいし、次回も傍聴しようと思っています。

「ノートブック」は
毎号楽しみに
読んでいます



今井彌生さん(吉田神田町)

以前から傍聴は好きで、何回か来ていました。傍聴席は前の議場に比べて、余裕があっていいですね。ただ、後ろの議員さんが見えなかったのが、もったいなかったなと思います。市民から選んでもらった議員さんも、積極的な討論をしてほしいです。

議会だよりは、以前は開くことがなかったけど「つばめ市議会ノートブック」になってからは、毎号楽しみに読んでいます。表紙は柔らかい色使いで、インパクトもあるし、質問のページもわかりやすく、中を見る前に期待感が増しました。

議員さんは番号で
呼ばれるんですね



相場うた子さん(幸町)

新議場での議会の様子を見たくて、初めて傍聴に行きました。議場の色合いや明るさ、広さはいい感じでしたね。

私は、議長が議員さんを番号で呼んでいたことに一番驚きました。質問のやり取りは少し物足りませんでした。また答弁者の声が小さい一方で、後列の議員さんの私語が気になりました。

これからの議会には、商店街の活性化や他県からも来ていただける催し物を大切にしていきたいですね。もっと活気のある討論を期待しています。

編集後記

議会だよりの編集に携わり3年目となりました。

委員一同、研修や工夫を重ね、よりよい議会だよりの編集に真摯に取り組んでおります。

先日伺った視察先では、情報弱者への情報提供の取り組みと、議会だより編集のさまざまな技法や知識を学んでまいりました。次号で研修のご報告をさせていただく予定です。

さて、議会だよりが住民と議会をつなぐ大切な手段であるというのは、全国の自治体議会の取り組みからも明らかです。議会だより発行の目的は、他の政策施策同様、最終的には住民の福祉増進に結びつくものと考えています。今後も、議会だよりの抱える課題解決に着実に取り組み、より多くの方に「読んでもらえる」議会だよりの編集に、他の委員と力を合わせ精一杯取り組んでまいります。

【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：齋藤紀美江

委員：小林由明 樋浦恵美 タナカ・キン 長井由喜雄 齋藤信行

9月定例会から 映像配信 スタート



今号の表紙

「暑い夏」が続きます。今号の表紙は入道雲をかぶった国上山です。

夏といえば、スイカ・うちわ・蚊取り線香・氷にそうめん、そして入道雲などなど。皆さんにとっての「夏の代表格」はなんでしょう？

新庁舎になったことに伴い、住所・電話番号・FAX番号が変わりました